

2006年 7月 20日

80%超が『住宅の購入を急いだ』と回答

金利・地価の先高感、買い時感はいずれも高いポイント

株式会社長谷工アーベスト（本社：東京都港区、社長：安永雄一郎）は、首都圏在住のモニターに対し、四半期毎（年に4回）にWEBアンケート形式による『顧客マインド調査』を実施、金利・地価の先高感、買い時感などについて調査をしています。6月下旬に実施した調査では、最近1年以内に住宅を購入したモニターのうち80%以上が、金利・地価の上昇傾向の影響で『購入を急いだ』と回答しました。また購入を急いだモニターと、購入を検討中のモニターを比較したところ、購入を急いだモニターの方が『月収・年俵が増加した』と回答したポイントが高く、経済的にややゆとりが出てきたことも、購入を後押ししたものと捉えられます。金利・地価の先高感、買い時感についても、同様に検討中のモニターを上回っていることが分かりました。

更に、購入を検討中のモニターの半数以上は、金利・地価の先高感を持っていることから、引き続き購入が前倒しになることが予想されます。

【80%超が『住宅の購入を急いだ』と回答】（グラフ①）

最近1年以内に住宅を購入したモニターに「金利・地価の上昇傾向を鑑みて、なるべく早く購入したいと感じましたか？」という質問をしたところ、81%が『購入を急いだ』と回答しました。

この『購入を急いだ』と回答したモニターと、住宅購入を検討しているモニターに対して2006年度の月収・年俵の変化を聞いたところ、『月収・年俵が増加した』という回答は購入を急いだモニターの方が6ポイント高くなっています（購入を急いだモニター：40%、検討中モニター：34%）。月収・年俵が増加し、経済的にやや余裕が出てきたことも買い急ぐ下地になっていると考えられます。

【住宅購入済モニターは金利先高感・地価先高感・買い時感とも高いポイント】（グラフ②）

住宅購入済モニターのうち、『購入を急いだ』と回答したモニターと、住宅購入検討中のモニターに対し、金利動向・地価動向・買い時感について質問したところ、購入を急いだモニターはいずれも先高感が高いことが分かりました。特に買い時感については、購入を急いだモニター：69%、検討中モニター：49%と、20ポイントの差が出ています。

『購入を急いだ』回答者からは「本当に今しか無いと思う」「金利・価格ともに上昇するので、今のうちに購入しておいた方が良いと思う」という声も聞かれており、金利・地価の先高感から、今後も購入を早める動きが見込まれます。

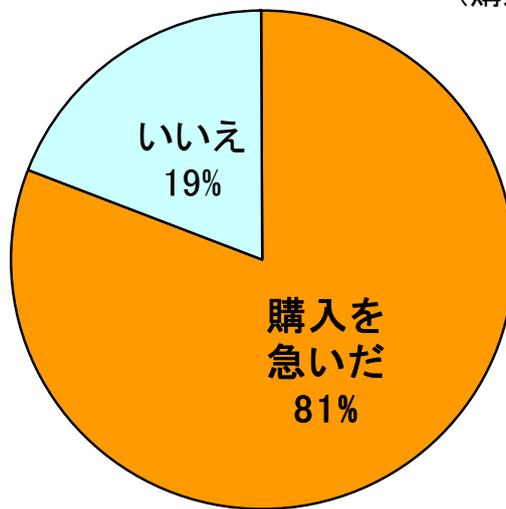
【長谷工アーベスト 顧客マインド調査】

【調査概要】

調査対象	当社モニター（首都圏在住）
調査手法	インターネットアンケート
調査実施日	2006年6月23日アンケートメール配信、6月28日締切
有効回答件数	2,519件（購入済モニター：192件、購入検討中モニター：2,327件）

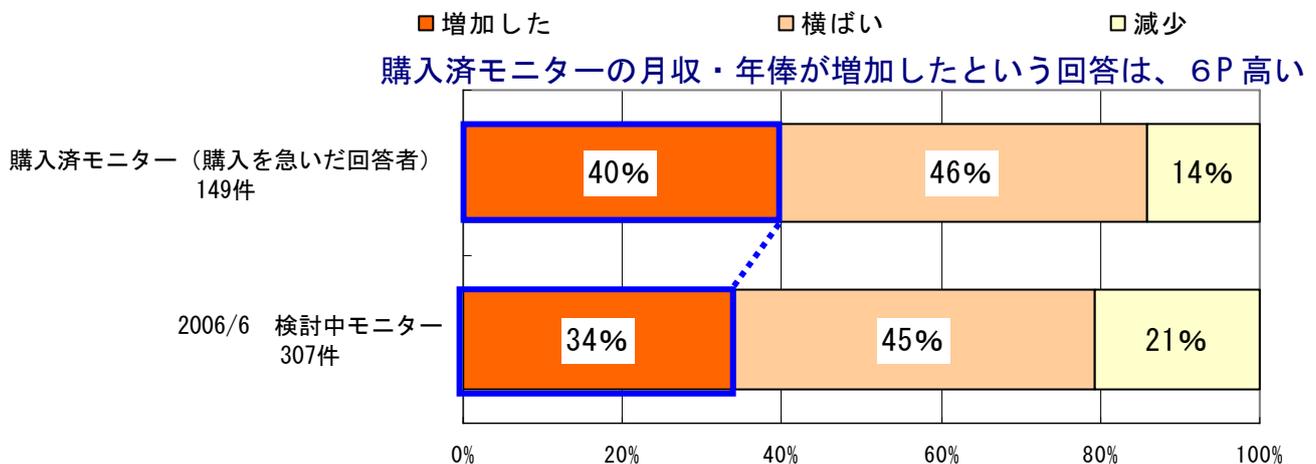
■金利・価格の上昇傾向を鑑みて、なるべく早く購入したいと感じましたか？（グラフ①）

（購入済モニター 192件）



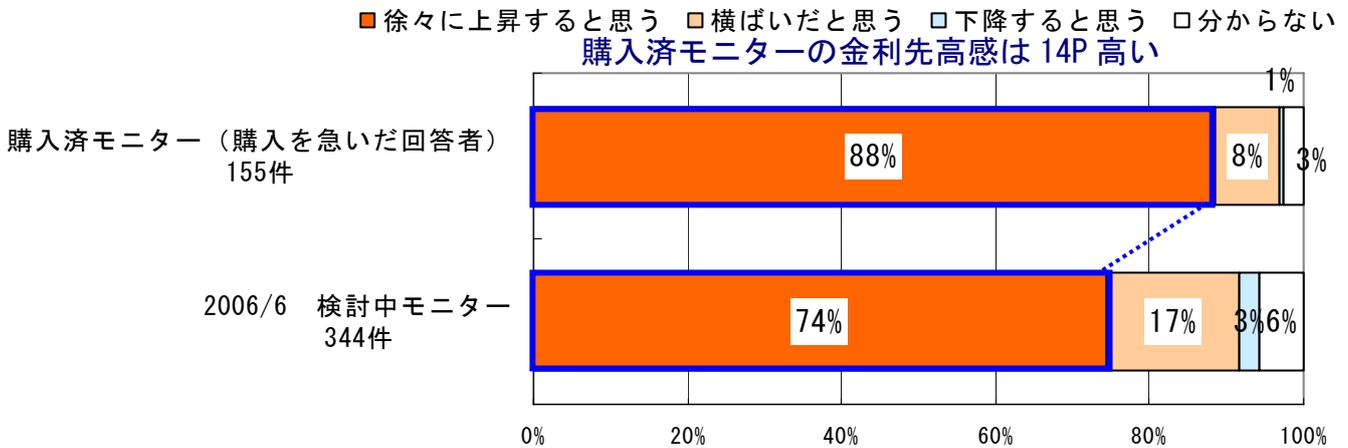
【 2006年度の月収・年俵の変化 】

※無職及び60歳以上除く

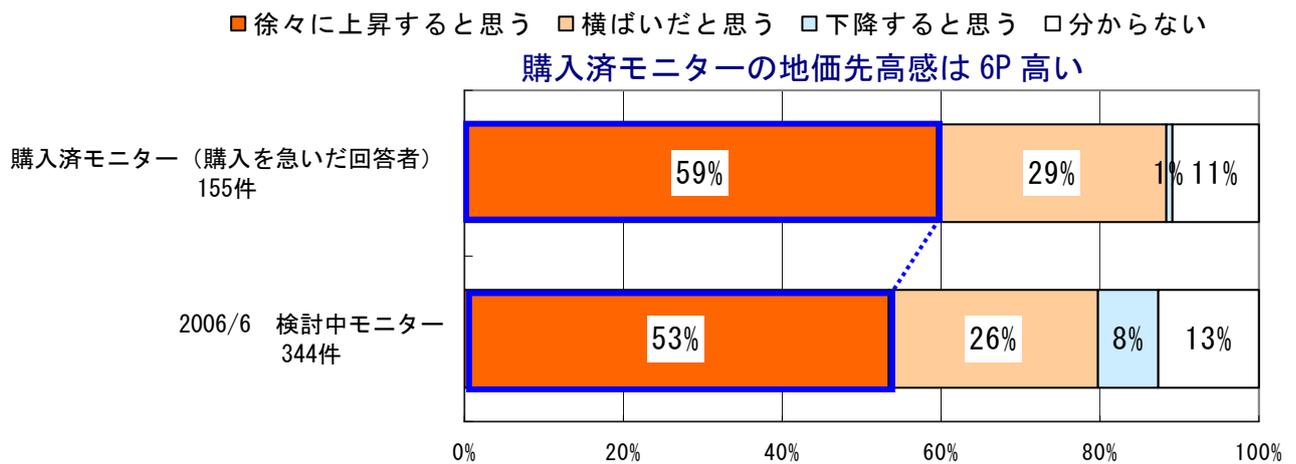


■ 購入済モニター（購入を急いだ回答者）、未購入モニターの比較（グラフ②）

【 金利動向 】



【 地価動向 】



【 買い時感 】

